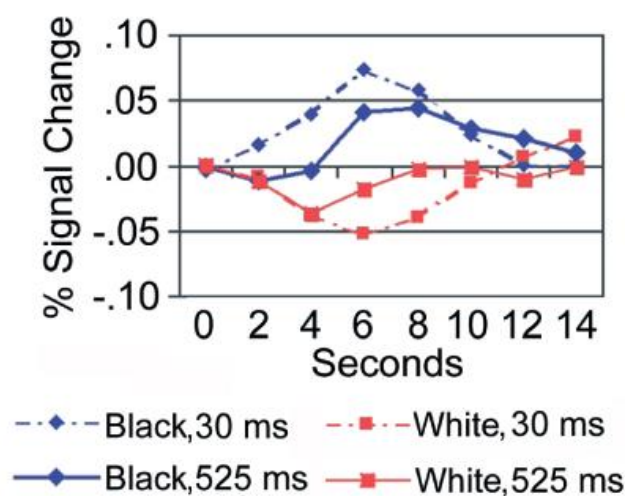
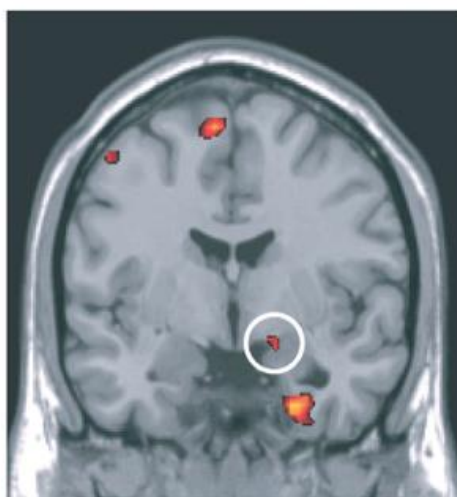


トランプ新大統領

小嶋祥三

トランプ大統領が就任した。黒人のオバマ大統領で、人種差別問題がよい方向に向かうのかと思ったが、しばしば報道されたように、黒人に対する白人警察官の対応は、そんな甘い考えを一蹴するものだった。オバマ政権の終わり近くになって、あのような報道が増えた気がするが、どうだろうか。オバマ大統領は一部白人の誇りを傷つけたのだろうか。トランプ新大統領はオバマ前大統領の政策を片端からひっくり返しているように見えるが、黒人が大統領であったことに対する不満、不快感がでてきているような気がする。人種問題が見え隠れするように思う。多くの白人は黒人に対して優越感を持ち、それは心の片隅にある誇りでもあるのだ（あまり意味があるとは思えない誇りだが）。「劣った」少数派の黒人を大統領に載くのは米国が弱体化したことによると考えるのだろうか。「アメリカを再びグレートにする」という言葉には、人種の問題が潜んでいないだろうか。優越感の裏返しとして、白人は黒人に対して恐怖を抱く。脳画像研究で人種問題を扱ったものがある。白人の実験参加者に白人、黒人の写真を見せると、黒人の写真に対して恐怖に関する扁桃核 Amygdala が活性化するので（Cunningham, W.A. et al. Psychol. Sci., 15:806-813, 2004）。下の図にあるように、これは写真の提示時間が短いと顕著に出る。長く提示すると扁桃核の活性は減少する。認知制御が働くためと考えられた。言い換えれば、理性によりコントロールしなければ、白人にとって黒人は脅威なのだ。今回の選挙結果はそれらの白人の隠れた気持ちが表に出てきたものかもしれない。人種の問題が絡むのなら、日本や中国は攻撃目標になるだろう。

a: Amygdala Contrast Map b: Amygdala Timecourses



Cunningham, W.A. et al. Psychol. Sci., 15:806-813, 2004. より